



# 島根県内初! “松江シティFC U18 うんなん”発足! 雲南市を拠点に始動!



現在活躍中の松江シティFC U12チーム



## 10月24日に大東ふれあい運動場で 初のセレクションが開催されました。

島根県を拠点に活動するサッカークラブ「松江シティFC」のユース（U18）チームが2021年春より雲南市を拠点に発足します。ユース（U18）チームとは、現在の松江シティFCトップチームの下部組織であり、高校生を対象とした育成チームです。島根県内外からサッカーをする環境を求めて子どもたちが多数集まり、また地域の活性化が期待されます。次ページにこの度ユース（U18）チーム監督に就任された坂元要介監督を紹介します。





松江シティFC U18 うんなん 監督 坂元 要介



- 生年月日 1974年1月12日(46歳)
- 出身地 京都府
- 競技歴 滝川第二高等学校サッカー部  
同志社大学体育会サッカー部  
京都パープルサンガ  
佐川急便大阪サッカー部  
FC 京都 BAMB1993
- 代表歴 1992年～1995年 U-18～U-22 日本代表  
1995年 アトランタオリンピックアジア1次予選代表
- 指導歴 FC 京都 BAMBコーチ  
レスタ FC (JY)コーチ  
同志社大学体育会サッカー部コーチ  
スペランツァFC 大阪高槻コーチ  
アルテリーヴォ和歌山 監督
- 資格 日本サッカー協会公認A級ライセンス

## ごあいさつ

松江シティFCは2024年のJリーグ参入を目指すため、強化として下部組織であるユース（U18）チームの立ち上げを計画していました。そこで選手が地域コミュニティを学ぶ貴重な体験ができるということ、地域活性化とユースチームが高校3年間サッカーに取り組める環境を提供してもらえるということ、さらに雲南市教育魅力化推進構想の安定的な生徒確保が望めるということで雲南市での立ち上げに至りました。

ユースチームが雲南市で発足することによって歴史と実績を重ねて卒業生が増え、その中から地域を支える人材や地域を代表する存在が生まれることが期待されます。その他、定期的な主催大会を開催することにより、参加チームの選手や応援での宿泊、さらに観光をしていただくことで経済効果が生まれます。

監督に就任した私としては雲南地域でできるだけ試合ができるようにし、試合の日には市民の皆さんに応援していただけるようになるのが目標です。今はセレクションを受けてくれた選手たちがどうすれば持ち味

を発揮できるか、選手たちとどのように戦っていくかを想像しています。来年発足するチームはトップチームが目指すスタイルでもある「ENJOY」を掲げ、プレーする選手はもちろん、観る人、応援する人も楽しめるサッカーを目指します。

また、具体的にはボールを保持する攻撃的なチーム、守備でも主導権を握りアグレッシブなサッカーをしていきたいと思っています。多くの人に応援していただけるチームになれるように、魅力あるチームになることを約束します。試合の日がいつもお祭りのようになればと思います。

最後になりましたが雲南市民の皆さま、ここまでご尽力いただきありがとうございます。

この雲南市からトップチーム、Jリーグ、世界へと選手が成長する姿を応援してください！

皆さんの生活の活力となれるよう、また、チーム・選手が雲南市の発展に貢献していけるよう、全力で取り組んでいきます。ぜひ応援よろしく願いいたします。



## 第2回 昌子源カップ開催

今年から活躍の場をJリーグとし、ガンバ大阪で活躍中の昌子源選手のカップ戦が、10月25日大東ふれあい運動場陸上競技場で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、よいとこ祭りは開催されませんでした。この少年サッカー大会は屋外であるため、よいとこ祭協賛として行われ、今年は県内チームに限定し8チームと減らしての大会となりました。

当日は秋晴れの日となり、春先から思うように活動ができなかったサッカー少年少女たちは、芝生のピッチで思いっきりプレーし、キラキラと輝いていました。結果は松江シティFC U12が優勝し、昌子源選手のお父さん、お姉さんからトロフィーやガンバ大阪グッズなど豪華副賞を受け取りました。

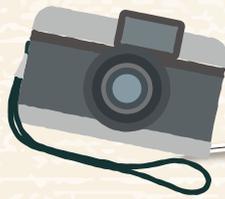
参加選手全員の中からはMVPも選出され、昌子源



選手の直筆サイン入りユニフォームも贈られ、笑顔いっぱい表彰式となりました。

大東ジュニアフットボールクラブはリーグ戦で松江シティFCジュニアに敗れましたが、最後まで諦めない最高のプレーをしてくれました。





# パチリ 掲示板

Photo bulletin board

広報まるこやま第45号より似顔絵作品を提供  
いただいている地元大東の細田滋さんが、5回目の  
作品展を中国電力ふれあいホールにて開催されました。  
サインペンと鉛筆による微妙な線の表現でその人のイ  
メージ、雰囲気表現されています。今後の広報まる  
こやまに掲載する似顔絵もお楽しみに！



噂のお寺掲示板  
グサッと心に刺さる標語  
ムムウ〜思わずうなって  
しまう標語



第21回大東明寿会ペタンク大会が  
10月6日に丸子山公園グラウンドで開催され  
ました。好天の下、25チーム90名の選手が  
参加して熱戦を繰り広げ、好プレー、珍プレーで  
大いに盛り上がりました。結果は優勝河北A、  
準優勝新庄、第3位上町Aとなりました。



職場訪問

## より身近な図書館を目指して

雲南市立大東図書館 かしたに 梶谷 友香

みなさん、こんにちは。雲南市立大東図書館をご  
紹介します。2010年から「雲南市大東町地域福  
祉センターおおぎ」内で仮移転として運営されてい  
ましたが、現在地が本移転先となり、増改築を経て  
2018年6月にリニューアルオープンしました。  
広さが約1.5倍となり、ゆったりと読書を楽しめる  
ブラウジングコーナーや、イベント開催にも利用で  
きる学習室兼多目的室、無料Wi-Fiを備えた学習閱  
覧・PC利用席もできました。また、書架の間が広  
くなり、以前より本が見やすく探しやすくなったと  
のお声をいただいております。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点  
から、臨時休館や滞在時間等の変更がありご不便を  
おかけしておりましたが、11月4日から開館時間  
が通常の18時までに戻り、子どもさん向けのイ  
ベントも少しずつ再開しているところです。読書週間  
に合わせて10月24日に行った「司書体験講座」  
では、市内小学生4名のご参加があり、館内見学  
や、本に汚れ防止のフィルムを貼る『ブックコート  
かけ』などを体験してもらいました。体験を通し  
て、図書館により親しみを感じてもらえたら嬉しい  
です。

また、読みたい本が大東図書館にない場合は、予  
約・リクエストをすることができます。電話・FAX



司書体験講座 ※「司書体験講座」説明のためマスクをはずしています。

でも受け付けていますので、是非お気軽にお問い合わせ  
ください。図書館にある本を使ってのお調べも  
のなどもお手伝いします。ゆったり過ごせる居心地  
の良い図書館を目指して、地域の皆様に愛されるよ  
う職員一同努力してまいります。  
ご利用お待ちしております。

雲南市立図書館  
ホームページを  
ご覧ください。

### 雲南市立大東図書館

〒699-1251 雲南市大東町大東1038  
雲南市大東町地域福祉センターおおぎ内  
TEL・FAX 0854-43-6131  
休館日：毎週金曜日、祝日、月末 他



## あいあい募金

ご寄付に感謝致します

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあ  
う活動に対する補助金等に活用させていただいております。

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

- ・大東町 (西本町) 青木 伸次様 (香典返し)
- ・大東町 (中町) 古山 信也様 (香典返し)
- ・松江市 (南本町) 浦辺 登志夫様 (香典返し)
- ・名古屋市 (東町北) 竹山(森山) 浩子様 (香典返し)
- ・広島市 (本町) 狩野 彰彦様 (一般寄付)
- ・大東町 (新庄南) 水戸 勝春様 (高校下宿生へ玄米)

# いつの時代も 元気いっぱい、笑顔いっぱいの 運動会



昭和30年代の運動会の様子 講堂をバックにパン食い競争

5つの団名や色がいつ、どのような経緯で決められたのかは資料がありません。ご承知の方がございましたら、ぜひお知らせいただきたいと思います。

なお、この組み分け並びに色分けは、現在も、祖父母会の活動の中に残っているとのこと。祖父母会という組織は、他校に見られない大東小独特な自慢できる組織です。

「あの頃の運動会は・・・」と、話し出したとたん、汗、涙、笑いとともに過ごした感動の場面を思い出されるのではないかと思います。

先日10月3日(土)、大東小学校ではコロナ禍のために延期になっていた「さくら運動会」が無事開催されました。

大東小学校の運動会は、以前は5色対抗でした。各組の団名とはちまきの色、および自治会名は以下の通りです。

- せいうんだん 青雲団 …… 青 …… 駅前、越戸、古城、織部、馬田寺
- きんれいだん 金嶺団 …… 黄 …… 新庄、田中、清田、金成
- せきしんだん 赤心団 …… 赤 …… 西町、北町、神田町、大木原
- はくとうだん 白濤団 …… 白 …… 東町、光、上町
- やくしんだん 躍進団 …… 紫 …… 本町、中町、南本町、西本町



大東こども園、大東小学校から提供いただいた懐かしい運動会の写真の一部です。

## まなびの泉

### 『夏季体育大会を終えて』

大東高校剣道部 日野あゆみ

私は7月24日に行われた総体の代替大会である島根県高等学校夏季体育大会に出場し、準優勝という成績を収めることができました。私は母が剣道の指導者であることをきっかけに剣道を始め、高校で全国大会へ出場したいと考え、部員一人ひとりが同じ目標に向かって意識高く取り組んでいる大東高校への進学を決めました。大東高校では頼りになる同級生や私たちのことを応援してくださる先生、先輩、後輩とすばらしい環境で部活動を行うことができました。また、数多くの高校へ遠征に行き、強豪校と試合をすることで、技術を高めることができました。そして、チームの皆や他校生と交流を深めることができ、多くの人と人間関係を築くことができました。

私は、部員で唯一の女子プレーヤーだったため、高校2年生まで一度も団体戦に出場したことはありません。そのため、大会では男子の団体戦を応援し、その後、自分の試合に臨むことがほとんどでした。男子の試合ぶりを見て私は、一人ひとりがチームのために一勝一本を繋ぎ、どうにか勝利をつかもうとする姿に勇気づけられ、自身の個人戦では気持ちを高め戦うことができました。また、私も団体戦にでたいという気持ちが一層強くなり、

そのためには私が個人戦で頑張っている姿を見せ、結果を残すことが必要であると考え、日々の練習に加え自主練習に力を入れるようになりました。その甲斐もあり、私が3年生になった年に1年生が2名入部してくれて、念願の団体戦に出場することができました。結果は、二回戦敗退でしたが、3人で優勝候補に大将戦まで詰め寄ることができ、私がこれまでに感じた試合の中で一番楽しく思えた試合でした。そして、その後の個人戦では、これまで私が頑張ってきたのは同級生の励ましやたくさんの人の支えがあったからこそであり、その人たちのために自分がこれまで取り組んで来た成果を試合で発揮することで恩返しをしようと試合に臨みました。その結果、準優勝という成果を挙げる事ができました。

私は大東高校剣道部だからこそ残せた結果だと思っています。また、この経験は今後の生活に必ず生きてくると思っており、これまで支えてくれた方々に感謝の気持ちを忘れず、学校生活を送っていきたくです。

この度は、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



令和2年 10月末現在の 人口・世帯数 ( )内は対前々月比		総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
雲南市	37,222人(▲172人)	17,944人(▲75人)	19,278人(▲97人)	13,736世帯(▲10世帯)	39.32%(+0.16%)	
大東町	11,848人(▲67人)	5,763人(▲32人)	6,085人(▲35人)	4,161世帯(▲5世帯)	39.15%(+0.14%)	
大東地区	3,491人(▲2人)	1,679人(1人)	1,812人(▲3人)	1,265世帯(5世帯)		

資料：雲南市HPより

全国からの  
お便り



## 皆さん さすけねえか (大丈夫ですか)

福島県会津坂下町(金成出身) 佐藤 延子 (旧姓安部)



ふるさと大東の皆様こんにちは。ご縁があり福島県会津坂下町からお便り差し上げます。時が過ぎるのは早いもので、大東高校を卒業後、生活の拠点を松江、東京、福島の会津に移して46年になります。夫が東北地方というあまりに遠くの人だったので、毎年帰省するからと両親を安心させ結婚しました。約束通りほぼ毎年の様に親子6人で帰省しました。両親を囲んで兄弟や甥、姪達と庭でのバーベキューパーティーや花火大会、大東七夕祭りにも行きました。その時の両親の嬉しそうな顔は忘れることができません。

夫の実家である会津での生活も35年になり、のんびりとした出雲人気質の私は、「ならぬものは、ならぬものです」という会津人の頑固さや「会津に来た時は、その閉鎖的な人間関係に泣き、なじんでくると人情の深さに泣き、去る時は会津人の人情が忘れ難く泣く」という「会津の三泣き」生活にも溶け込み、会津弁も上手になりました。

会津の観光地といえば、「白虎隊」で有名な「鶴ヶ城」や茅葺屋根の民家が残る旧宿場町「大内宿」などがあります。コロナ禍で当面は旅行を控える方も多いと思いますが、機会があれば是非 おわいなはんしょ(いらっしゃいませ)。

東日本大震災の発生から来年3月11日で丸10年を迎えます。死者約1万6000人、行方不明者

2500人、いまだ約5万人が避難生活を余儀なくされています。当時、私は看護師として病院に勤務していましたが、およそ120キロ離れた双葉町や葛尾村などの被災地から入院患者や避難者を大勢受け入れ、昼夜を問わず職員一丸となり難局に取り組みました。それができたのも、ひとえに全国の皆様からの応援と支援があったからだと感謝申し上げます。改めて、自然災害の凄さ、怖さを痛感すると共に、いつ起こるか分からない自然災害に備えて、「3・11」を忘れてはいけない日だと思っています。

帰省するたびに雲南病院が新しく建て替わったり、松江木次方面への道路が新しくなったりと、子どもの頃の情景が変わりつつありますが、生まれ育った唯一の大切なふるさとに想いを寄せながら残り少なくなった人生を楽しみたいと思います。

それでは、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と皆様のご健康、地域のご発展をお祈りいたします。



旧宿場町「大内宿」

にがおえで  
こんにちは!

山の中だからこそ 小さいからこそできること!!

農事組合法人結いの郷 代表理事 安井 修



(絵:大東町東町北 細田 滋)

塩田地区箱淵集落を中心に稲作主体の農事組合法人「結いの郷」を運営しています。

箱淵集落は戸数10戸で高齢化率は80%以上です。とうに限界集落を超えています。

この様な状況では個人で農地を守ることも集落の景観を維持することも難しくなっていました。

そんな中、ほ場整備をきっかけにして農事組合法人を立ち上げて団体で農地管理を行うことにしました。平成28年4月、組合員6名、経営面積は2.2ha程の小さなちいさな法人でスタートしました。

収量は少ないけれど、阿用川源流のキレイな水と寒暖差のある気候、さらに代々受け継がれてきた肥沃で粘土質の土と、減農薬・無農薬による栽培で、美味しく安全・安心な米作りを行っています。

設立5年目の現在は、経営面積3haと刈取り・乾燥調製を約2ha受託しています。米の販路は町内保育園や介護施設、個人等ですが、アヨ有機農法塾エコマグループと連携して、安来市の酒造会社に減農薬米を出荷しています。この会社との連携事業は、減農薬米を使って料理酒を醸造し都市部に販売することで島根県の6次産業化補助事業に認定されています。

また、昨年からは島根大学生有志による「付加価値のあるコメを栽培して販路も開拓する。そして地域に貢献する」というプロジェクト(略して「コメプロ」)を支援して、種まきから刈取りまでの指導を行っています。2年目の今年は、少量ですが販売することができるようです。

山間地の小さなちいさな農業法人ですが、山間地だからこそ、小規模だからこそできる安心・安全で美味しい米づくりにより地域を、集落を守ることを目指しています。

## 郷土の暮らしと文化

## 「せりだの社」の謎

清田 千原 孝通

西利太神社（せりたじんじゃ）は西暦733年に編纂された出雲国風土記にその所在を知ることができる。大原郡の編に延喜式内に在る神社13社が記されている。この中に「世裡陀社（せりだのやしろ）」があり、これが今の西利太神社。後の時代に書かれた雲陽誌によると、この神社は「辛（かのと）明神」とあり、ご祭神は金山比古尊であって「たたら製鉄」を主宰する神である。今はたどり歩くことは出来なくなったが、現地の直下付近や上と下に「井出（水路）跡」と思われる道が「井出口」「金穴堀」という屋号の家近くに向かって繋がっている。大東の「加多神社」も風土記掲載の13社のひとつであり、今の東大地区では「世裡陀社」「加多社」の2社である。大東地区を流れる「赤川」の名の由来は「清田川」からの濁り水？。この風土記時代は清田地域がたたら製鉄の繁栄のために重視されていたのだろう。現在、旧大原郡内神社数は87社ある中で、この中の13社は極めて歴史の深い存在であるが、はたして今の社は「辛大明神」「十二所権現」としての式内社「世裡陀社」なのだろうか？現地は当時の式内社としての様相は感じられない。また、歴代続く社家

（宮司宅）が次に記す旧熊野神社下にあるのが不思議。

同じ清田地内の長安寺上にあるもう一社、「旧熊野神社」が1500年頃に紀州の熊野神宮十二所神社から勧請されたといわれ、「岩根三社権現」と称し、大正年間に今の西利太神社に合祀された。付近に「たたら谷」という地名もあり、境内や建築様式も豪華であり大きな狛犬もある。大祓詞など祭文に「底つ岩根に宮柱太敷き建て」との文言もあるが、この地を「岩根」と称している。神社の下、清田地内で一番広い水田面積を有している。

何か史跡でも出土すれば、と願えども未だに出土しない。たたら族は砂鉄採取の後を水田に変えて移動したと聞く。風土記の時代、この清田を拠点に奥部へ異動した「たたら族」が居たのでは？その発祥の「世裡陀社」の元社地は何処？私の謎は解けない。



おた かずよし  
**太田 和良さん**  
(南本町自治会)

今回は、本業のほかに写真家として多方面にわたりご活躍中の太田和良さんを訪ねました。筆者と同級生ということでざくばらんに話していただきました。

**Q** 先ず、「うんなんコウノトリ四姉妹ものがたり」写真集発刊に至るまでの経緯を聞かせて下さい。

5年前、体調を崩し入院しましたが順調に回復、その快気祝いとして性能のいいカメラを購入、そのころ流行中の「べた踏み坂」にかかる日の出の撮影に出かけたり、移り変わる四季の風景を撮ったりして楽しんでいました。

ちょうどその頃、春殖地区に大きな珍しい鳥が見られるようになりそれがコウノトリでした。初めての出会いに心躍るものがありました。友人の誘いもあり営巣を始めたコウノトリの様子と後に生まれるヒナの成長を追いかけることになりました。綺麗に記録したいと思い更に性能のいい望遠レンズも揃えました。撮影するにあたり、場所や離隔距離等色々な制限がある中、地元の方の協力もあり集中して撮影ができました。感謝しています。営巣、産卵、ヒナの誕生、巣立ちまで期間も長く、またシャッターチャンス逃すまいと張り込みや追跡をしたこともありました。撮影していく中で、親鳥が我が子を必死に守り育てる姿が印象的でしたね。

「親思う心に勝る親心」でしょうかね。

2018年、機会を捉えて撮影した写真を「形にして残したらどうか。」と友人に勧められ、数ある写真をまとめ、写真集として発刊しました。

自費出版ということで大変でしたが、文字によるくどい説明をなくした「写真が語る物語だね。」と評価もしていただきありがたいと思っています。

表紙を飾る4羽のまなざしの先には何があるのでしょうか？

一昨年から、撮影した写真を70点以上パネルにし、「うんなんコウノトリものがたり写真展」として市内全部の小中学校をはじめ市役所、図書館、道の駅、介護施設、商業施設等約30箇所で開催しています。

幸せを運ぶコウノトリと共生できる喜びをじっくりと感じてもらえたいと思います。

将来にわたりこの温かい関係が続くといいですね。

長いお付き合いとなり「げんきくんとポンスニを雲南市民に認定して欲しい。」と言います。「勿論住民税は私が払います。」とも…。闘病中の2017年、げんき君と出会いその姿に励まされ、初心にかえり夢中でシャッターを切る。家族の絆と奇跡ともいえる四姉妹の成長記録が雲南市のみならず全国へ伝わるといいですね。

頑張れ！げんきくん！ ガンバレ！ポンスニ！ エールを送りましょう。

(記、西村 武)

